



## トピックス

### 新任職員紹介

みなと寮では新任職員のOJTにプリセプター制度を導入しています。入職から5ヶ月経って今の想いを聞いてみました！

#### 弘済院第1特別養護老人ホーム



生活支援員  
**常本 恵利 (新任職員) 写真左**  
4月からあつという間の5ヶ月でした。まだまだ覚えることも多いですが、今後も精進していきたいです。

生活支援員  
**今井 亮輔 (5年目) 写真右**  
少しずつ成長してきているのが良く分かります。これからもスタッフ一同協力し合ってサポートしていければと思います。



生活支援員  
**城代 龍生 (新任職員) 写真左**  
入社するまで自分が本当に介護福祉士としてやっていけるのか不安がありました。プリセプター制度のおかげで、すごく勉強になり、不安なく頑張っています。

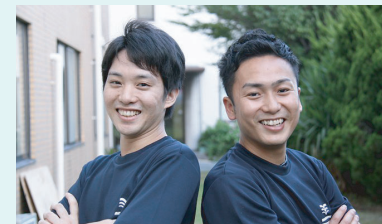
生活支援員  
**矢野 裕奈 (5年目) 写真右**  
相手に教える事により自分も改めて学び直すことが出来ました。



生活支援員  
**白根 和久 (新任職員) 写真左**  
未経験者でしたが丁寧に教えて頂いています。初心を忘れず頑張ります。

生活支援員  
**西村 知成 (6年目) 写真右**  
仕事を覚えようと熱心なのがよく伝わります。今後に期待しています。

#### 特別養護老人ホーム愛港園



生活支援員  
**岡前 聡史 (新任職員) 写真左**  
まだまだ勉強することがたくさんあります。努力を積み重ね頑張ります。

生活支援員  
**吉野 翔 (6年目) 写真右**  
人に教えることは難しいですが、私自身も勉強になり、お互い成長できると感じます。



生活支援員  
**橋本 桜 (新任職員) 写真左**  
プリセプターの梅原さんが詳しく丁寧に教えてくださるので、安心して仕事ができます。

生活支援員  
**梅原 真美 (8年目) 写真右**  
橋本さんは介護未経験でしたが、毎日に成長を感じます。期待しています。

#### 救護施設千里寮



栄養士  
**市村 文音 (新任職員) 写真右**  
優しい先輩の指導の下、おいしい食事を提供できるように日々頑張ります。

栄養士  
**須見 菜緒 (6年目) 写真左**  
初めてのプリセプターで手探り状態ですが、頼れる先輩になれるよう頑張ります。

#### 救護施設みなと寮



生活支援員 **武山 敏生 (新任職員) 写真右**  
仕事の分からない事を教えて下さり、また色々な相談も聞いて下さり、プリセプターが門林さんでとても感謝しています。

生活支援員 **門林 諒真 (6年目) 写真左**  
プリセプターを担当して初心に返ることができ、自分自身も学ぶことが多いです。

教えてもらう職員も  
教える職員も、共に  
成長を感じています。







いつまでも笑顔で 弘済院第1特養七夕まつり



林間学校での手作り体験の一コマです

### 港住吉神社の夏祭り



#### 第2愛港園・グループホームときめき

港住吉神社の夏祭りの枕太鼓が施設にやってきました。雨の中やぐらを大きく揺らしながら、太鼓を叩く迫力ある姿に驚きながらも皆さん楽しんでおられました。

太鼓の後は、子ども達による住吉踊りが披露されました。踊りに合わせて、皆さん手拍子。子ども達が踊る姿を見て「かわいいね」と何度も笑顔で話されているのが印象的でした。

萱野裕一

### 七夕祭



#### みなとデイサービスセンター

みなとデイサービスセンターでは、毎年7月の第1週目に行事として七夕祭を行っています。今年も利用者の皆さんに願い事を短冊に書いて頂きました。「いつまでも元気でいられますように。」「足が良くなりますように。」それぞれの願いを込めて、デイホールに設置した笹に職員と一緒に飾り付けをしました。

飾り付けがたくさんになると浴衣を羽織ってもらい記念撮影を行いました。夏らしい涼しげな笑顔の写真がたくさん撮れました。

いつまでもお元気でデイサービスに通って頂きたいですね。

宮武信行

### 愛港園 納涼会



#### 特別養護老人ホーム愛港園

7月28日に愛港園納涼会が実施されました。今年初めて第2愛港園と合同での開催であり、例年にも増してたくさんの利用者が参加されました。

園内には祭囃子が流れ、のぼりを掲げて並ぶ模擬店の数々に雰囲気はまさにお祭りそのもの。まだまだかかと納涼会の開会を待ちきれない様子の利用者もいらっしゃいました。

模擬店もレクリエーションの輪投げとコイン落としも、終始賑やかで大変な盛り上がりで、参加されたご家族も一緒にご飯を食べたり笑顔でお話しながら、楽しいひと時を過ごされていました。

米盛喜久

### りんくうファーム 地域との交流



#### 救護施設りんくうみなと

近隣のこども園の園児を招待し、毎年恒例の農作業体験を行いました。春にはジャガイモ堀りを行いました。大きなジャガイモを見つけては自慢している園児に「すごいね」と話しかけながら、一緒にスコップを使って耕している利用者の姿が微笑ましかったです。

また、6月には田植えも行いました。昔ながらの手作業で利用者と共に田植えを行い、園児も利用者も泥だらけになりながら楽しそうにいました。利用者が園児達の手を取りながら、安全に田植えが出来るよう声を掛けていた事が印象的でした。

園児の皆さん、来年もよろしくお願ひします。  
大野 満

### こうせいみなと 納涼会



#### 救護施設こうせいみなと

“こうせいみなと”になってから2回目の納涼会を8月26日に開催しました。今年も猛暑と言われ暑さが心配でしたが、開始時刻の夕方にはいくぶんしのぎやすくなりました。入所、通所等の利用者の他、地域にお住まいの方、海の子学園の子ども達など、例年どおり多くの皆さまにお越しいただけました。

子ども達が目を輝かせて、アイスクリーム、飲み物、コイン落とし等の模擬店を回り、特に福引きではキャラクターの景品を狙ってクジを引き、特賞に当たって大喜びされる姿が印象的でした。

内堀世紀

### 今年の林間学校は淡路島方面へ



#### 救護施設千里寮

6月25・26日の1泊2日、淡路島へ『林間学校』に出かけました。この林間学校は、法人内4つの救護施設の合同行事で、他施設利用者との交流の機会として長年継続して実施しております。

1日目は夕食後に施設対抗カラオケ大会を行いました。利用者も職員も熱い応援で会場を盛り上げました。

2日目はイングランドの丘に出かけ、宝探しゲームを行いました。園内に散りばめられた“お宝”を求めて、園内を縦横無尽に探しまわりました。「あんなところがあった!」「ここにあるで!」と楽しそうな笑顔が印象的でした。

施設という枠を越えて、利用者間の親睦が深まったひとときになりました。

片山 創



研修の様子

(弘済院第1特別養護老人ホーム 甲斐賢二郎)

**接遇マナー研修**  
7月21日(日)に株式会社「ユメコム」の橋本珠美氏を講師としてお招きし「接遇マナー研修」を敬う姿勢・接遇を学ぶ」を開催しました。その道のプロのお話を聞ける、職員にとっても非常に貴重な機会となりました。この研修は弘済院第1特養の家族会から頂いた助成金を活用させていただきます。  
研修の中では基本的な言葉使いや声掛けのマナーのほか、挨拶や身だしなみが相手に与える印象の重要性など、普段の業務以外でも社会人として大変参考になる内容でした。  
弘済院第1特養ではこのような外部から講師を招いての研修を年に数回開催しており、今年度は接遇研修以外にも司法書士の坂西涼氏を招いての権利擁護の研修を開催しています。家族会から頂いた貴重な助成金を無駄にせず、職員一人一人が成長していける取り組みを、今後も継続していく予定です。



(救護施設みなと寮 尾崎浩)

**公益的な取り組み**  
みなと寮では、地域における公益的な取り組みとして、河内長野市内の楠翠台地域での移動支援に取り組みしています。楠翠台は坂道が多く住民の高齢化も進み、以前から地域住民の皆様から病院やスーパーまでの移動手段がなくて困っている声が聞かれています。そこに河内長野市社会福祉協議会を通して移動支援について依頼があり、地域の民生委員の方も交えて協議した結果、今年4月から支援開始となりました。  
みなと寮の車両(ハイエース10人乗り)を使用し、平日の月曜日から金曜日まで1日1便、みなと寮の職員がドライバーとして送迎しています。ルートは地域住民の皆様のご要望が多かった河内長野駅前とイズミヤ河内長野店を経由して、楠翠台地域まで送迎しています。  
今後はルートの拡大や送迎本数の増加など、少しずつ地域住民の皆様のごニーズに応じていくことで、地域と一体となって河内長野市全体の活性化に貢献していきます。